

平成30年度第1回^{もり}森林の未来を考える懇談会資料

平成30年度森林環境基金事業の 実施について

- 平成30年度(当初予算)森林環境基金充当事業一覧表
- 平成30年度森林環境基金事業の枠組(当初予算)
- 平成30年度森林環境基金事業(新規・拡充)の概要
 - ・【拡充】里山林整備事業
 - ・【拡充】木とのふれあい創出事業
 - ・【新規】ふくしま県産材でオリンピック応援事業
 - ・【新規】木製食器で木づかい事業
- 県民主体による新たな森林づくり

平成30年7月30日

福島県農林水産部森林計画課

平成30年度森林環境基金事業の概要について

1 森林環境の適正な保全

		(単位:千円)			
No	事業名	事業の概要	平成30年度当初予算	平成29年度当初予算	増減
(1)	森林整備事業	飲料水の「水源区域」及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する区域内で行う森林整備を支援する。 ・森林整備事業 325,958千円 間伐1,030ha ・森林資源造成支援事業 6,198千円 再造林、樹下植栽 50ha	332,156	424,092	△ 91,936
(2)	里山林整備事業	地域住民が行う人々の生活圏等と野生動物の生息地の間の緩衝帯等の整備や放置された危険な枯損木等を整理し森林環境を整えることを支援して、野生動物との共生と被害の抑制を図るとともに、里山林の環境を整え住民の森林づくりへの意識醸成を推進する。 ・里山林整備事業 31,000千円 環境整備 78ha	31,000	19,200	11,800
(3)	森林整備地域活動支援交付金事業	森林の適切な整備を通じて、森林の有する多面的機能の継続的な発揮を図るとともに、森林施業・経営の集約化を図る観点から、主として林業事業者や森林所有者が森林経営計画の作成を行うために必要な活動を支援する措置として、市町村へ森林整備活動支援交付金を交付する。 ・森林整備地域活動支援交付金事業 1,490ha 10,463千円	(10,463)	(19,568)	(△ 9,105)
(4)	森林環境適正管理事業	情報の共有や業務の効率化を図るため、森林情報を電子データ化した各種図面上で管理することを可能にした福島県森林GISの活用を図るとともに、県民向けの森林情報を発信する「ふくしま森まっふ」の運営を継続する。 ・森林情報(GIS)活用推進事業 6,343千円	6,343	6,377	△ 34
	計		(379,962)	(469,237)	(△ 89,275)
			372,987	456,192	△ 83,205

※上段()は、国庫(基金)を含む事業費

2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

		(単位:千円)			
No	事業名	事業の概要	平成30年度当初予算	平成29年度当初予算	増減
(5)	間伐材搬出支援事業	間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備に要する経費及び原木・木市場等への間伐材の運搬経費を支援する。 ・間伐材運搬経費支援事業 6,400千円 事業量 12,800m ³ 、補助金 500円/m ³ ・林内作業路整備支援事業 22,900千円 事業量 45,800m、補助金 500円/m	29,300	32,705	△ 3,405
(6)	森林整備促進道路網整備事業	水源区域など重要な森林の継続的な森林整備と木材の搬出を促進するため耐久性のある作業道の整備を支援する。 ・森林整備促進道路網整備事業 18,547千円 事業量 4,570m 補助金4,200円/m以内	18,547	20,163	△ 1,616
(7)	ふくしまの低炭素社会づくり推進事業	地球温暖化防止に資するため、県民や関係者が一体となって行うCO ₂ 排出削減に貢献する取組を推進するとともに、固定された炭素を貯蔵している木材を住宅等に利用することや、バイオマスエネルギー利用の普及のための支援を行い、低炭素社会の実現に資する。 ・木めぐり探検事業 4か所 一般県民対象 3,573千円 ・緑の住宅普及支援事業 3,006千円 ・木質バイオマスでCO ₂ ダイエット事業 (ストーブ100台、二酸化炭素削減支援40,000m ³) 45,620千円 ・ふくしまの家・担い手応援事業 3,000千円 ・ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業 (県産木材住宅 一般20万P 被災者等30万P) 41,600千円	96,799	96,627	172
(8)	もっともくと木づかい推進事業	公共施設の木質化や学校教育現場における木育活動の推進等により、県民の木材利用に対する意識を醸成するとともに、民間施設における県産材利用の拡大を図り、低炭素社会の実現に資する。 ・木製備品形成促進事業 5,000千円 ・木製備品需要拡大技術導入事業 6,100千円 ・(新)木製食品で木づかい事業 4,251千円	52,265	16,213	36,052
(9)	地域林業技術伝承事業	地域の特性を活かし多様な森林づくりに向けた施業技術の実証等を支援し、各地域の条件を踏まえた施業システムの構築と継承を行う。併せて、優良な技術を県内に広く普及させるため林業研究グループ活動を支援する。 ・地域林業技術伝承事業 2件 2,000千円 ・林業研究グループ交流促進事業 7グループ 1,500千円	3,500	5,500	△ 2,000
	計		200,411	171,208	29,203

3 市町村が行う森林づくり等の推進

No	事業名	事業の概要	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増減
(10)	森林環境交付金事業	県民一人ひとりが参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができよう、森林環境基金の一部を交付する。 ・森林環境基本枠 192,294千円 ・地域提案重点枠 124,249千円	316,543	308,970	7,573
	計		316,543	308,970	7,573

4 県民参画の推進

No	事業名	事業の概要	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増減
(11)	花粉の少ない森林づくり事業	森林環境に配慮した再造林による森林の若返りを図るため、花粉症対策品種苗木を養成するとともに、採種・採種圃の整備により造林地へ花粉症対策苗木の供給を行う。 ・花粉の少ない森林づくり推進事業 苗木養成 1,500本 採種圃 0.52ha 1,591千円	(1,591)	(2,150)	(△ 559)
(12)	林業普及推進事業	森林・林業・木材産業の果たす役割や県民参画による森林づくりを推進するために開催している林業祭において、森林・林業・木材産業のPRを行い理解促進を図る。	900	600	300
(13)	森林環境学習の森整備事業	森林環境の重要性や林業の役割についての学習等の場や森林とのふれあいの場として利用しやすいフィールドの整備を行う。 ・森林学習フィールド整備事業 (県民の森 2ha/年) 獣害被害の安全対策) 3,500千円	3,500	3,500	0
(14)	森林づくり総合対策事業	県民参加による森林づくり運動を推進するため、緑化推進活動を実施している森林ボランティア団体の活動支援や森林づくり活動の情報収集・提供等を行う森林ボランティアサポートセンターの運営、ボランティアによる緑化意識醸成指導者や森林づくりの技術指導者となる人材の育成講座等の実施、更には企業やNPO等が行う森林づくり活動の支援を行う等、総合的な推進を図る。 ・ みんなで支えよう森森元気事業 4者、4協定 3,201千円 ・ (新) 未来へつなげよう豊かな森林づくり事業 森林ボランティア 8団体、もりの案内人 20名、グリーンフォレストスター 20名 11,290千円	14,491	14,491	0
(15)	県立学校における森林環境学習推進事業	県立学校が行う森林の環境に関する学習、森林の管理に関する学習、森林資源の利用に関する学習、地域における森林の役割に関する学習及び森林に関わる職業に関する学習に対する活動経費を支援する。 10校	2,500	2,500	0
(16)	ふくしまから はじめよう。森林とのさきずな事業	震災や原子力災害発生以降の森林の現状に対する理解を深めつつ、森林づくり運動の浸透や拡大を図るため、森林環境に関する情報発信と森林づくり活動の推進を図る。 ・ 森林環境情報発信事業 13,774千円 ・若者の森林自己学習支援事業 5グループ 1,650千円	(15,424)	(22,401)	(△ 6,977)
(17)	全国植樹祭開催事業	第69回全国植樹祭を開催し、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播きや復興に向けて力強く歩み続ける本県の姿を表現したアトラクションなどによる式典行事、植樹行事を実施する。	(421,549)	(383,876)	(37,673)
(18)	森林・水循環推進事業	健全な水環境を推進するため、県内流域において森林・水環境教育等を実践するための各流域の特色ある森林・水資源等を生かした相互交流・体験の機会を創出する。	273,805	177,705	96,100
(19)	エコ七夕事業	未就学児の地球環境を想うやさしい心を育成するため、幼稚園・保育園・こども園でエコに関する願い事をする七夕イベントを実施する。 実施園数 100園、県庁七夕 1園、もりの案内人派遣 10園	3,714	3,000	714
	計		(465,769)	(434,518)	(31,251)
			318,015	223,437	94,578

※上段()は、その他の財源を含む事業費

5 ふくしまの森林文化の継承

		(単位:千円)			
No	事業名	事業の概要	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増減
(20)	ふくしまの森林文化 継承事業	県内の森林文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、地域に根ざした森林文化について調査し、県民に分かりやすい形で広報するとともに、一般県民の体験等に対する支援を行う。 ・ふくしまの森林文化継承事業 4,849千円 ・木(森)に由来する伝統文化継承事業 6,099千円	10,948	11,059	△ 111
	計		10,948	11,059	△ 111

6 森林環境の調査

		(単位:千円)			
No	事業名	事業の概要	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増減
(21)	森林環境等調査発信事業	これまで森林環境交付金事業で小学校等に導入した木製家具の使用状況を調査し、その結果を広く周知することで、県産材を使用した木製品の利用促進を図るとともに、小学校向けの木材の良さをPRするチラシを作成し、木材とふれあう動機付けを行う。	1,351	4,481	△ 3,130
	計		1,351	4,481	△ 3,130

7 森林環境基金の運営

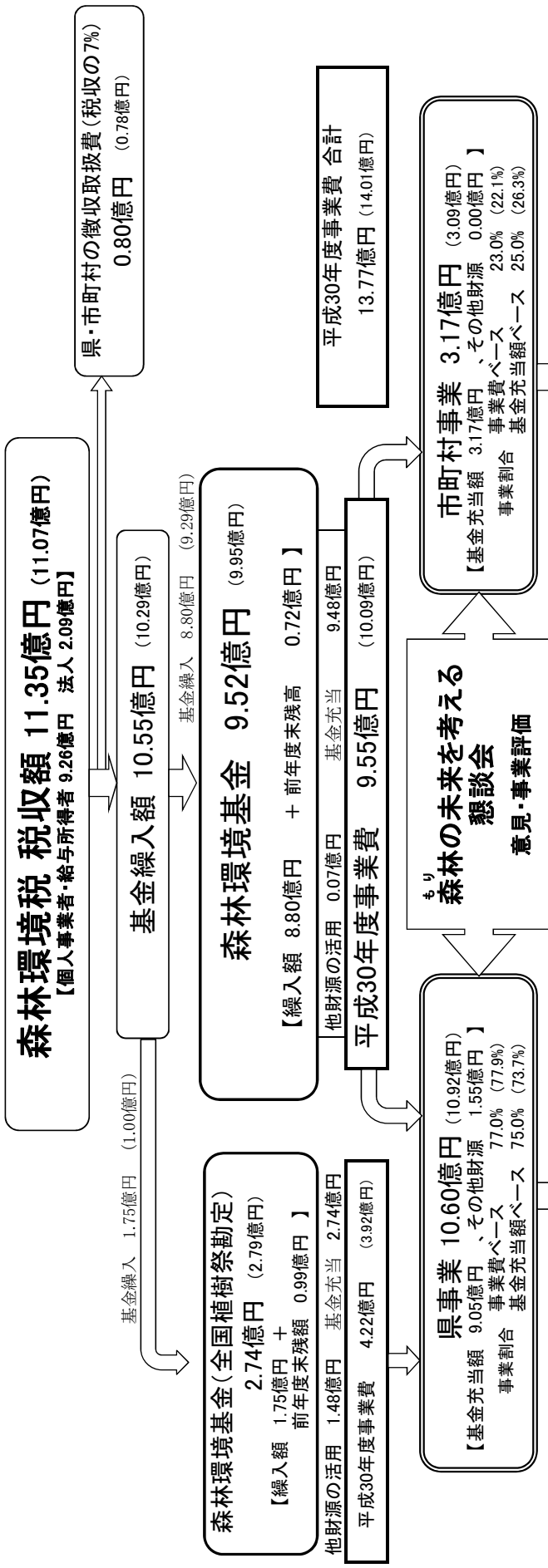
		(単位:千円)			
No	事業名	事業の概要	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増減
(22)	森林環境基金運営事業	森林環境基金の適正な執行と透明性を確保するため、公募委員等からなる「森林の未来を考える懇話会」を開催し、事業に対する意見や事業の評価などを行うとともに、県民主体による被災地から発信する新たな森林づくりに取り組むための提言をいただく。	1,155	1,155	0
	計		1,155	1,155	0

森林環境基金事業合計

		(単位:千円)			
No	事業名	事業の概要	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増減
		(1)～(7)の合計	1,376,139 1,221,410	(1,400,628) 1,176,502	(△ 24,489) 44,908

※上段()は、その他の財源を含む事業費

平成30年度森林環境基金事業の枠組(当初予算)



<p>森林環境を保全するための事業 580,373千円 (640,445千円)</p> <p>1 森林環境の適正な保全 379,962千円 (469,237千円) ・水源かん養など機能の低下が懸念される森林整備等 ・森林の若返りや広葉樹林化のための再造林の支援 ・里山林の環境整備 ・施業集約化を促進するための支援 ・森林GISの整備による森林情報の高度化、共有化</p> <p>2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり 200,411千円 (171,208千円) ・間伐材の搬出・運搬支援 ・森林整備を促進するための路網整備 ・木質バイオマス利用促進 ・CO2削減と風評払拭に向けた県産材の普及PR ・公共施設の木質化と木育活動の推進 ・木材利活用拡大に向けた新たな可能性への取組 ・地域に適した技術の継承による森林資源の活用</p>	<p>森林環境を醸成するための事業 479,223千円 (451,213千円)</p> <p>4 県民参画の推進 465,769千円 (434,518千円) ・森林環境学習に必要なフアートの整備 ・指導者の育成や森林ボランティアサポーターセンターの運営等 ・森林ボランティアや企業による森林づくり活動の支援 ・県立学校における森林環境学習等 ・幼少期や青年期を対象とした森林環境学習等 ・流域の交流等様々な形で森林の理解を深める取組 ・森林環境情報の発信や森林づくり活動の拡大 ・全国植樹祭の開催</p> <p>5 ふくしまの森林文化の継承 10,948千円 (11,059千円) ・県内の森林文化の継承に向けた記録と体験の取組 ・森林文化を活用した地域再生</p> <p>6 森林環境の調査 1,351千円 (4,481千円) ・森林の公益的機能の調査と発信</p> <p>7 森林環境基金の運営 1,155千円 (1,155千円) ・森林の未来を考える懇談会の開催</p>
<p>森林環境を保全するための事業 124,249千円 (117,575千円)</p> <p>3 森林環境交付金事業 重点枠 124,249千円 (117,575千円) ・市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組む財源 (事業の対象分野) ア 県産材の利活用推進 イ 木質バイオマスの利活用推進 ウ その他</p>	<p>森林環境を醸成するための事業 192,294千円 (191,395千円)</p> <p>3 森林環境交付金事業 基本枠 192,294千円 (191,395千円) ・全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源 (事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進</p>

※()書きの金額及び割合は平成29年度当初予算

里山林整備事業

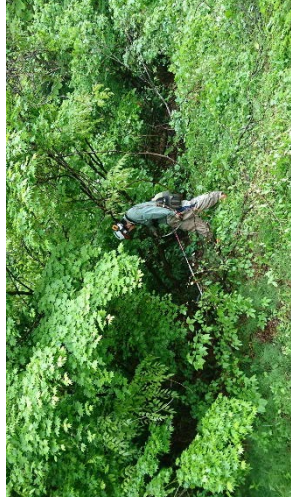
森林保全課

【里山林の現状】

- ・野生動物の生息区域(えさ場・隠れ家)が拡大
- ・住宅の裏山や道路沿線の枯損木等が増加

地域住民による里山林の整備

- 緩衝帯整備 → 生活圏と野生動物の生息域との間に緩衝帯を設置
- 景観整備 → 荒廃した里山林内の整理
- 危険木整理 → 里山林内の枯損木等の整理



緩衝帯整備の様子

地域住民が行う森林環境の適正な管理

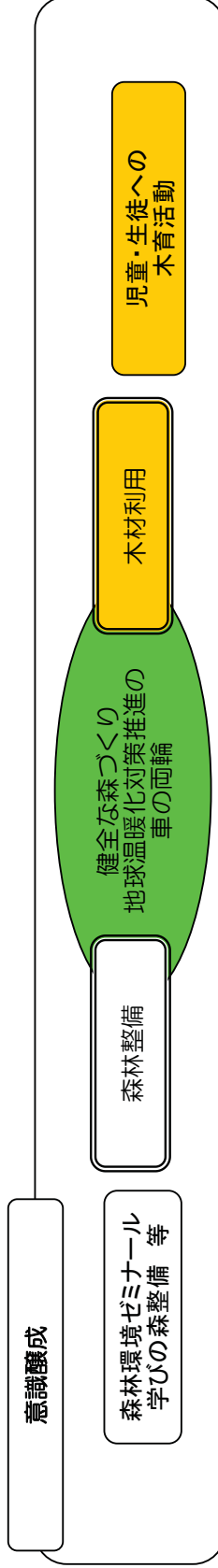
- 野生動物との共生と被害の抑制
- 里山林の環境を整え、住民の森林づくりへの意識醸成

木のふれあい創出事業

林業振興課

【事業概要】

児童・生徒などに対し木製品に接する機会や木材によるものづくりを学習する機会を創出し、森林や林業、木材産業に対する理解の向上と木材利用に対する意識醸成を図る。
(H30年度事業拡充(幼児及び高等学校向けの取組を追加))



事業実施内容とその目的

幼児・学校教育（小、中、高等学校）のなかで木を理解する場の提供

木に触れる機会が少ない
物作りの現場が身近にな
い

木工工作用資材を無償
提供

木製玩具(保育所)の配布や木工工作指
導(小中学校)、木製品製作指導(高等学
校)を通じ、五感を使って木と親しむ機会を
つくる。
また、地元の木材関係者、大工等から木
を使った物作りや地域の森林と自分たちの
繋がりを知る。

木材利用と森林・林業の関
わり、地域の森林資源につ
いて学ぶ。

手触り・触感の体感、技術・知識の習得、物作りに対する認識の向上、
県民全体へ対する木材利用に対する普及活動



次世代への木材利用(木の文化)の継承 木材需要の拡大

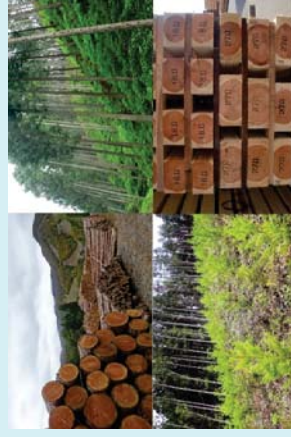
ふくしま県産材でオリンピックピック応援事業

林業振興課

【事業概要】

全国各地の自治体が提供する国産木材を使用して「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の施設を建設するプロジェクト「日本の木材活用リレー ～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」に参画し、「ふくしま県産材」を国内外にアピールする。

大会終了後(平成32年度)は、使用した木材を県内に持ち帰り、オリンピックレガシーとして、県内の公共施設等において再利用することにより、リユース可能な資源である木材の優位性を広く県民にPRする。



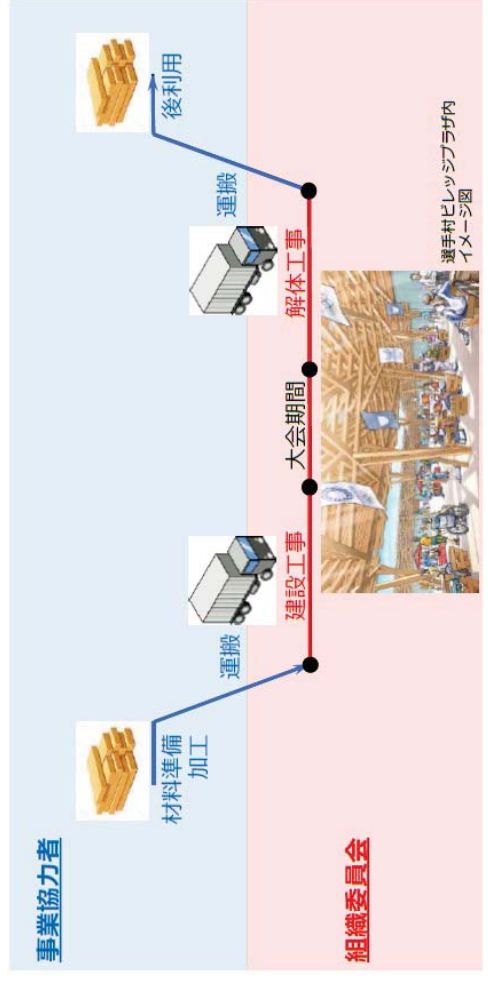
- 提供木材
 県産 スギ・ヒノキ 150m3
 (原則として森林認証材)

■ 選手村ビレッジプラザ



2017年9月時点のイメージ/eTokyo2020
 建設予定地：東京都中央区晴海
 規模・構造：延床約6,000m² 木造平屋建て
 施設の使用用途：入村式の会場となるほか、花屋・雑貨店などの店舗、カフェ、メディアセンター等

■ 事業スキーム ※県は、事業協力者としてプロジェクトに参画（青色部分）



木製食器で木づかい事業

・木製食器等の利用促進を食べ残しゼロ認定店で行う。

□県産材の利用促進
 県民の木材利用に対する意識を醸成し、県産材利用の拡大を図るため、他事業等とコラボし県産材活用をPR
 (例)
 ・ふくしま県産材でオリンピック応援事業
 ・木製食器で木づかい事業

○食べ残しゼロ協力店・事業所認定制度
 ①認定店への主な支援
 ・啓発資材の配布
 ・食器購入補助
 ・県HPでの取組PR
 ②募集開始時期
 平成30年8月
 ③第1回認定時期
 平成30年9月
 ③平成30年度目標
 300店舗

